資料1

東北中央自動車道の整備状況等

国土交通省　山形河川国道事務所

東北中央自動車道（相馬～横手）の整備状況

■東北中央自動車道は福島県相馬市から秋田県横手市で秋田自動車道に連結する総延長約268kmの高規格道路。
■令和7年11月に横堀道路3.7kmが開通。開通延長は約251kmとなり、現在、山形県内において、3事業（16.5km）を展開中。

東北中央自動車道　L=約268km

▼写真① 新庄金山道路



荒谷地区（湯沢方向） R7.7

▼ 写真② 金山道路



金山地区（湯沢方向） R7.8

▼ 写真③ 真室川雄勝道路



及位地区（新庄方向） R7.7

▼写真④ 横堀道路 開通後の交通状況



新庄金山道路 L=5.8km 事業中
金山道路 L=3.5km 事業中
真室川雄勝道路 L=7.2km 事業中
横堀道路 L=3.7km
下院内～雄勝こまち L=3.7km R7.11.22 開通

福島JCT
福島大笹生IC
桑折JCT
伊達桑折IC
伊達中央IC
霊山IC
霊山飯舘IC
相馬玉野IC
相馬山上IC
相馬IC
至 郡山市
至 いわき市
米沢北IC
米沢中央IC
米沢八幡原IC
南陽高畠IC
南陽PA
かみのやま温泉IC
山形上山IC
山形PASIC
山形中央IC
山形JCT
天童IC
東根IC
東根北IC
村山IC
村山本飯田IC
村山名取IC
大石田村山IC
尾花沢IC
尾花沢北IC
野黒沢IC
川原子IC
舟形IC
新庄IC
新庄鮭川IC
新庄真室川IC
（仮）金山南IC
（仮）金山北IC
（仮）及位IC
（仮）上院内IC
下院内IC
雄勝こまちIC
須川IC
三関IC
湯沢IC
十文字IC
横手JCT
横手IC
至 秋田市
至 酒田市
至 北上市
山形県
福島県
秋田県
岩手県
東北自動車道
秋田自動車道
山形自動車道
47
4

▼東北中央自動車道の整備状況
（令和8年3月現在）
全　長　約268km
開通済　約251km（94%）
事業中　約　17km（6%）

凡例
：開通中
：事業中
その他道路凡例
道路種別
：東北中央道
：高規格道路
：一般国道

■平成29年度
・福島県と山形県の県境部【福島大笹生～米沢北】が開通し、米沢市～首都圏間のネットワークが形成。
■平成31年度（R元年度）
・【南陽高畠～山形上山】が開通し、【福島JCT-山形JCT間】にて、【東北中央道と山形道・東北道】のダブルネットワークが形成。
■令和4年度
・【東根～尾花沢】【泉田道路】が開通し、新庄市～首都圏間のネットワーク形成。
■令和7年度
・【横堀道路】が開通。

山形県の最近の状況

■今回の協議会においては、山形県の最近の状況に着目しつつ、東北中央自動車道の最近の交通状況や圏域人口・交流人口・産業面・医療面について報告。

－ 山形県の最近の状況 －

■ 自動車利用特性

・山形県は自動車交通への依存度が非常に高い地域で、自家用車による通勤・通学割合は全国第1位。また、一世帯当たりの自家用乗用車保有台数は全国第3位、一世帯当たりの全自動車保有台数は全国第2位。

■ 人口動向

・山形県の人口は、令和7年5月1日時点で100万人を割り込み、将来においても減少が予想される。地域別では村山地域に県人口の約半数が集中し、それ以外の3地域における人口減少が著しい。

■ 観光特性

・山形県は各地域ごとに観光名所が点在し、また四季折々の観光イベントが催行されている。
・米有力旅行メディア『ナショナル ジオグラフィック』が令和5年10月21日(火)に発表した「2026年に行くべき世界の旅行先25選)」に日本で唯一山形県が選出。

■ 産業特性

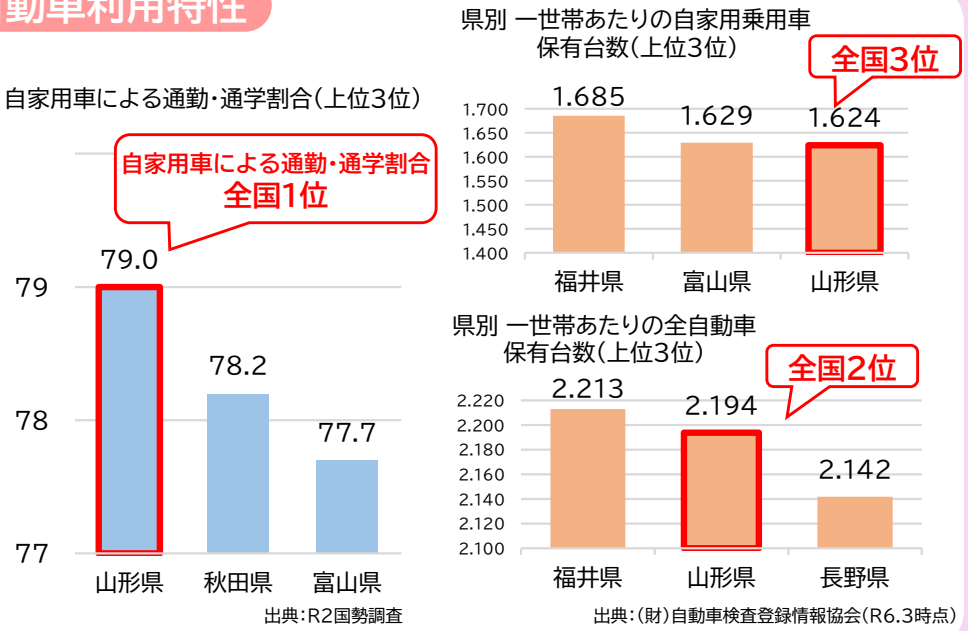
・山形県は、半導体を含む『電子部品・デバイス・電子回路』の製造品出荷額等が全国4位。付加価値額※では全国1位。

※付加価値額:生産活動により新たに生み出された価値(売上額から原材料などを差し引いた額)

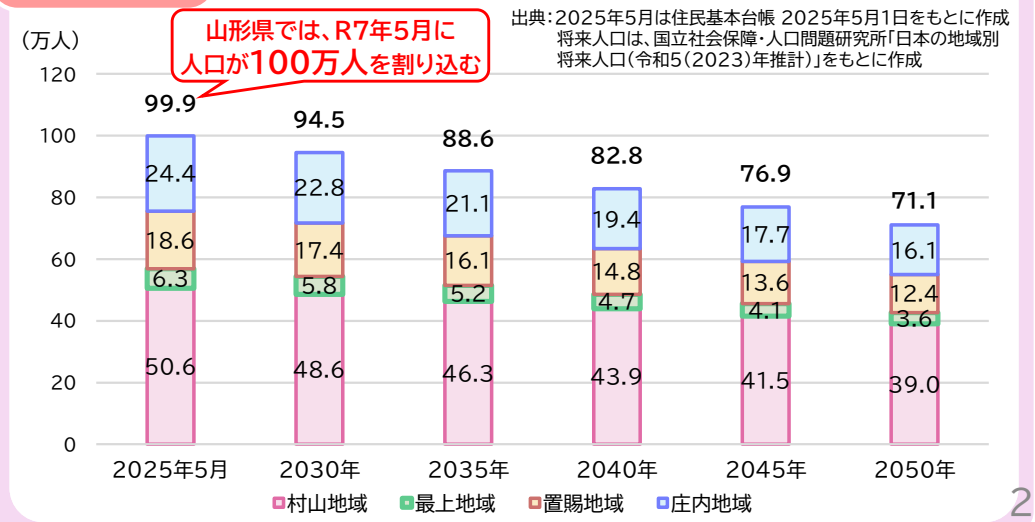
■ 医師不足・偏在

・山形県の医師数(R2)は全国平均に達してないとともに、医師偏在指標で、村山地域と最上地域では2倍の差があるなど、地域間における偏在が顕著。

自動車利用特性



人口動向



山形県の最近の状況

観光特性

山形県は各地域ごとに**観光名所**が点在
四季折々のイベントが催行



▲加茂水族館

▲山居倉庫

▲月山スキー場
（月山春夏スキー）

▲赤川花火大会

▲白川湖水没林（白川ダム）

出典：山形県公式観光サイトより

▲最上川舟下り

▲新庄まつり

▲銀山温泉

▲花笠まつり

▲蔵王の樹氷

▲赤湯温泉

▲上杉神社（雪灯籠祭り）

PRESS RELEASE
報道発表資料

日本の魅力を、日本のチカラに。
JNTO 日本政府観光局

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2025年10月22日

山形県が米有力旅行メディアで「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に選出！

- 米有力旅行メディア『ナショナル ジオグラフィック（National Geographic）』が2025年10月21日（火）に発表した「Best of the World 2026（2026年に行くべき世界の旅行先25選）」に山形県が選出されました。
- 山形県は、古くからの伝統と神秘的なアウトドア体験ができる旅行先として選出されています。
- 日本政府観光局（JNTO）では、今回の選出を弾みに、更なる地方誘客の促進に向けて、引き続き日本各地の魅力の発信に取り組んでまいります。


ナショナル ジオグラフィックの公式ウェブサイトより
写真：蔵王（撮影 Michael George）

日本から唯一「山形県」が選出

「Best of the World 2026」に選定された旅行先

The Dolomites, Milan, Italy	Khiva, Uzbekistan	Guimarães, Portugal
Québec, Canada	Akagera National Park, Rwanda, East Africa	Basque Country, Spain
Beijing, China	Vancouver, British Columbia, Canada	Maui, Hawaii, U.S.
Dominica	**Yamagata Prefecture, Japan**	Pittsburgh, Pennsylvania, U.S.
Rabat, Morocco	Route 66: Oklahoma, U.S.	Coastal Oaxaca(Costa Chica), Mexico
Hull, Yorkshire, England	Uluru-Kata Tjuta National Park, Australia	Fiji
North Dakota Badlands, U.S.	Rio de Janeiro, Brazil	Medellín, Colombia
Manila, Philippines	Oulu, Finland	
Black Sea Coast, Türkiye	South Korea	

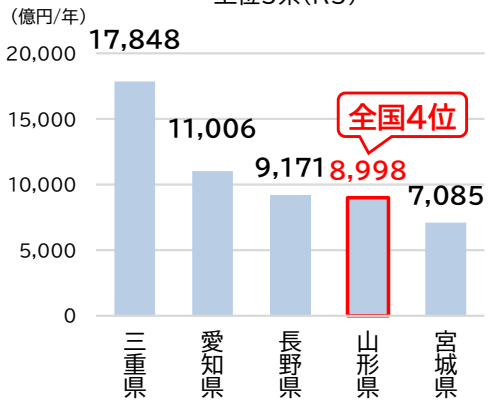
ナショナル ジオグラフィックの「Best of the World 2026」リストの詳細については、Best of the World 2026 | National Geographic をご覧ください。

Japan. Endless Discovery.

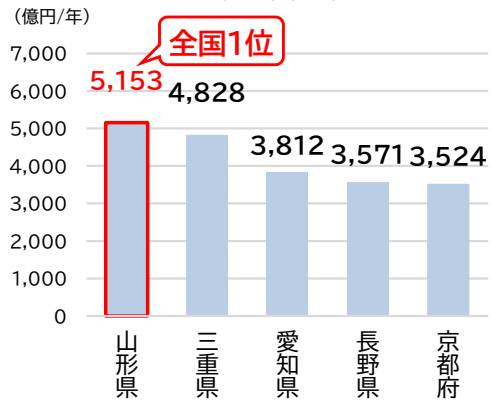
独立行政法人 国際観光振興機構
企画調整室 広報グループ
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4
TEL: 03-5369-3342 FAX: 03-3350-5200
URL: https://www.jnto.go.jp/

産業特性

▼都道府県別電子部品・デバイス・電子回路製造品出荷額等 全国順位 上位5県（R5）



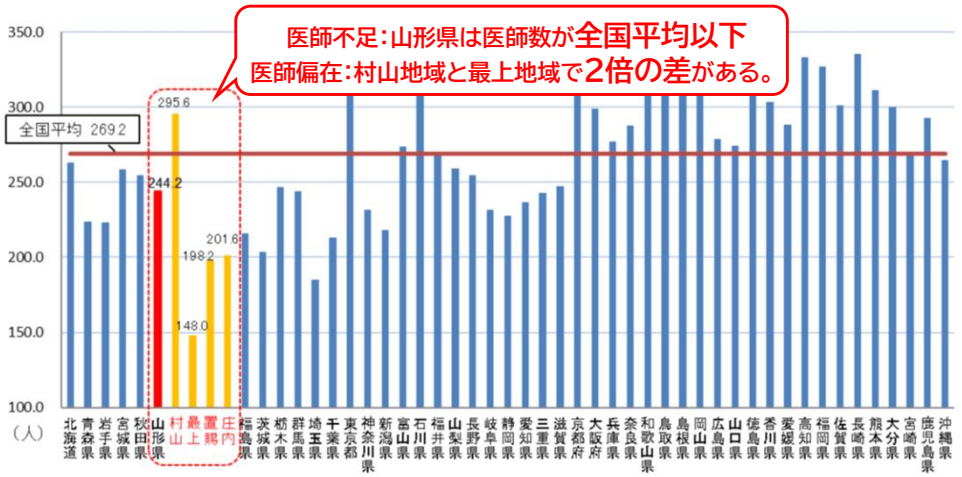
▼都道府県別電子部品・デバイス・電子回路製造品 付加価値額 全国順位 上位5県（R5）



出典：2024年経済構造実態調査

医師不足・偏在

▼人口10万人あたりの都道府県別医師数（2020年）

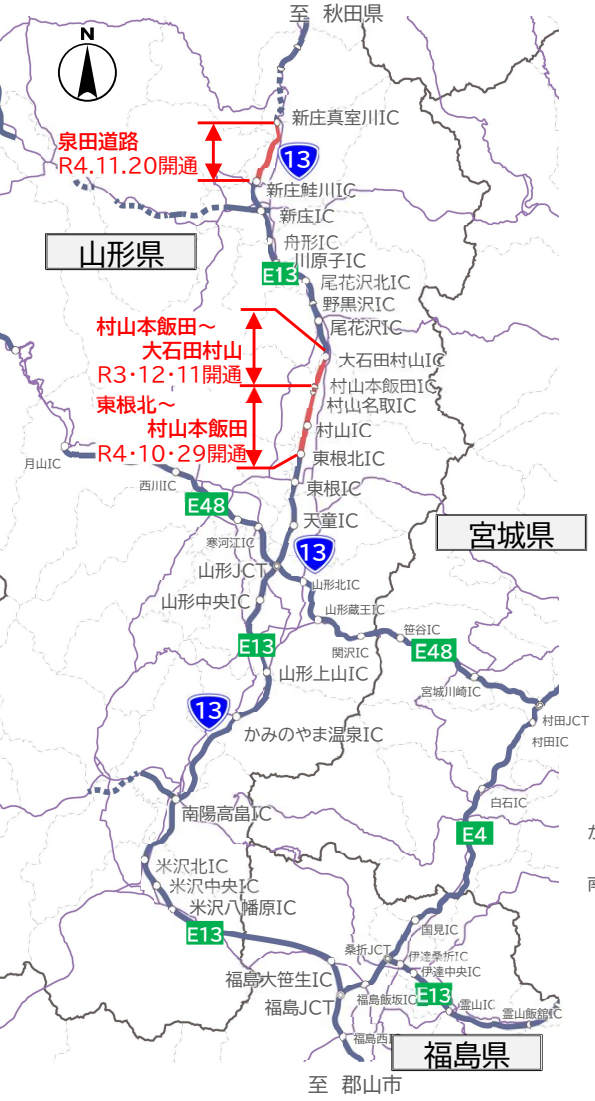


出典：第8次前期山形県医師確保計画（R6.3 山形県）
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

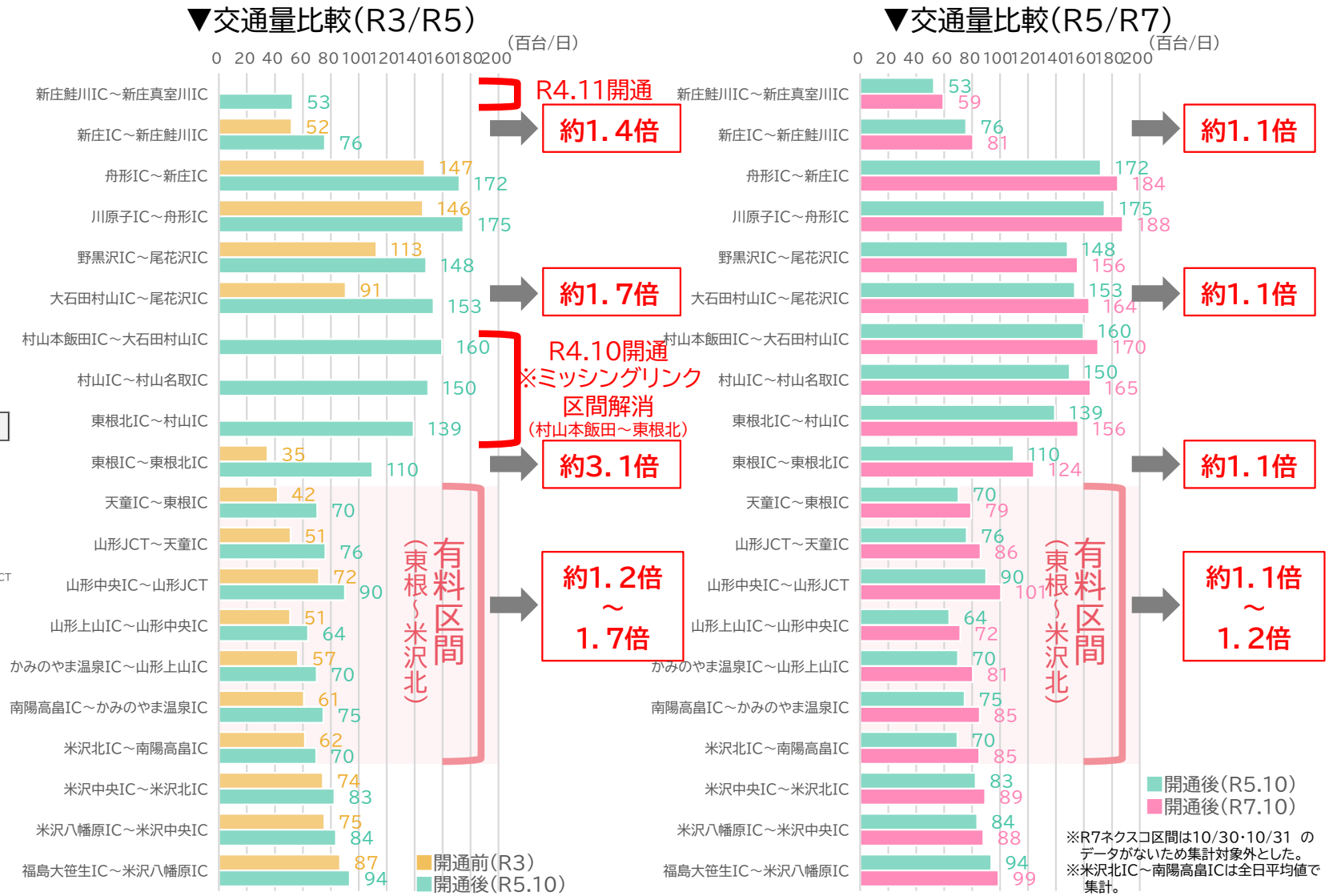
①東北中央自動車道の交通量の状況

■東北中央自動車道ではR4年度に、東根～尾花沢・泉田道路が開通。新庄市～首都圏間のネットワークが形成。
■交通量比較(R3/R5)⇒開通区間前後中心に交通量が増加。(約1.4～3.1倍)　有料区間も交通量が増加。(約1.2～1.7倍)
■**交通量比較(R5/R7)⇒交通量は全ての区間で微増傾向。**

■位置図



■東北中央自動車道の区間別交通量の変化(平日)



※R7ネクスコ区間は10/30･10/31 のデータがないため集計対象外とした。
※米沢北IC～南陽高畠ICは全日平均値で集計。

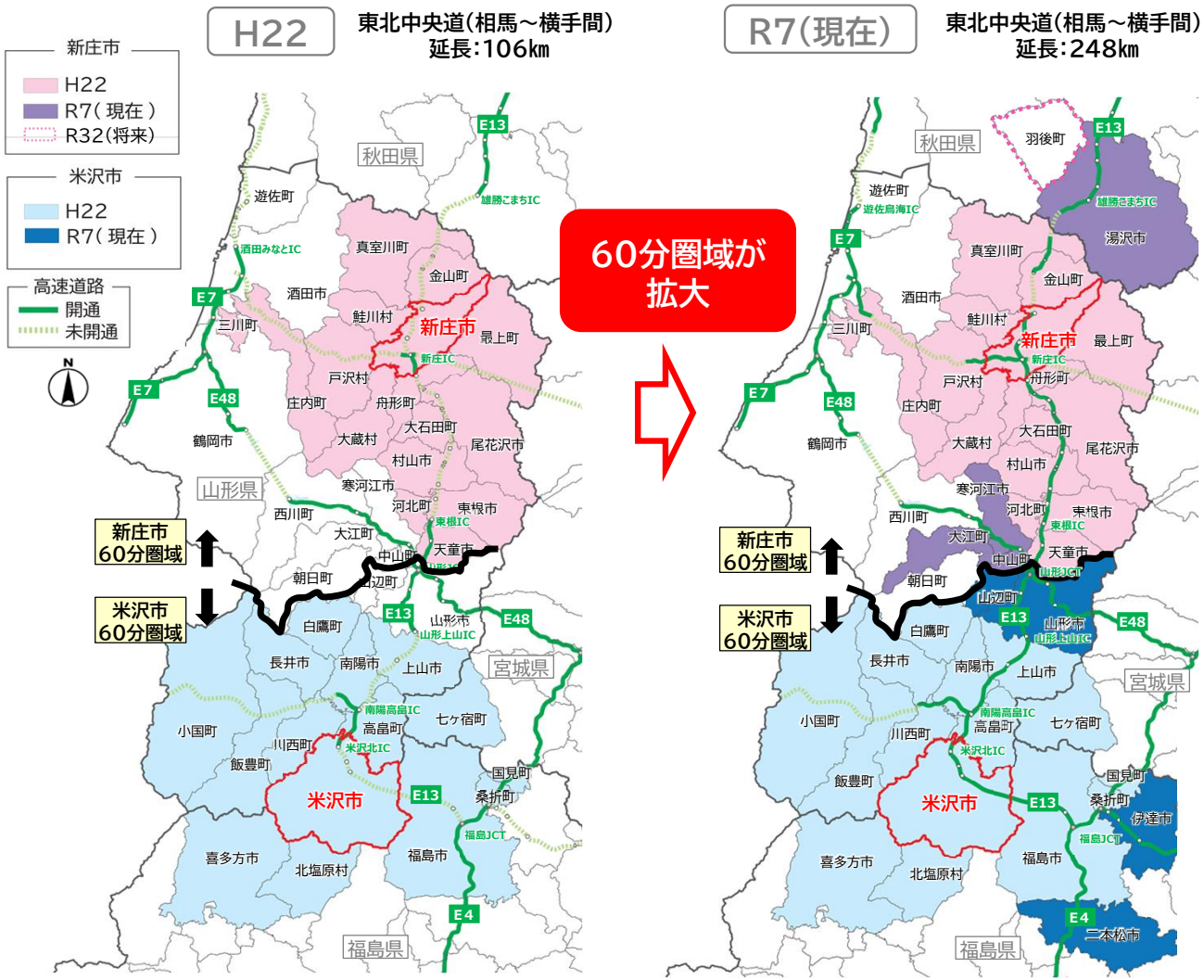
出典：(R3) 全国道路･街路交通情勢調査
(R5.10)トラフィックカウンターデータ、NEXCO東日本データ(R5.10)

出典：(R5.10)トラフィックカウンターデータ、NEXCO東日本データ(R5.10)
(R7.10)トラフィックカウンターデータ、NEXCO東日本データ(R7.10)

②圏域人口拡大

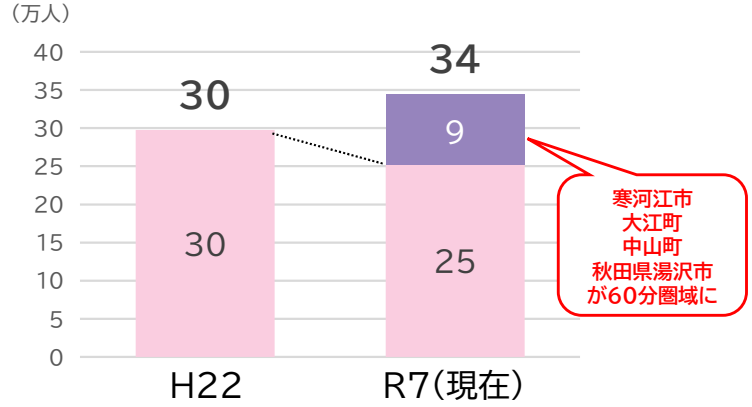
■「東北中央自動車道」など高規格ネットワークの進展による60分圏域および人口の変化を、新庄市・米沢市に着目し確認。
■ H22年における新庄市の60分圏域人口は約30万人。米沢市の60分圏域人口は約61万人。
■ **現在、各自治体の人口は減少するも、新庄市の60分圏域人口が約34万人、米沢市の60分圏域人口が約91万人に拡大。**

▼高規格ネットワーク延伸による60分圏域の変化（新庄市/米沢市）



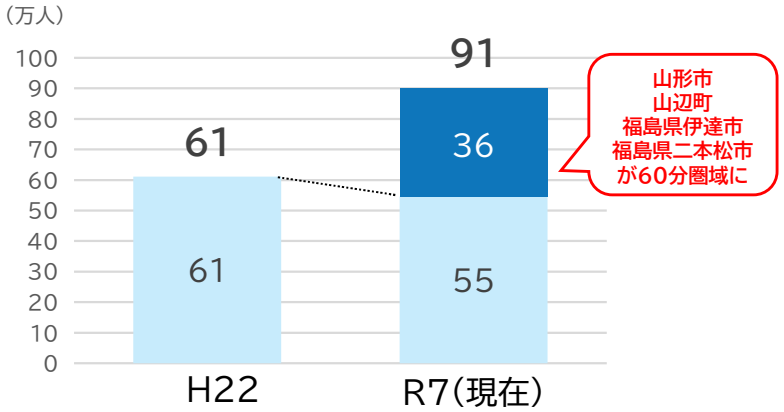
▼60分圏域人口の変化（新庄市）

圏域拡大なしでは　約25万人
道路開通により圏域拡大すると　約34万人



▼60分圏域人口の変化（米沢市）

圏域拡大なしでは　約55万人
道路開通により圏域拡大すると　約91万人

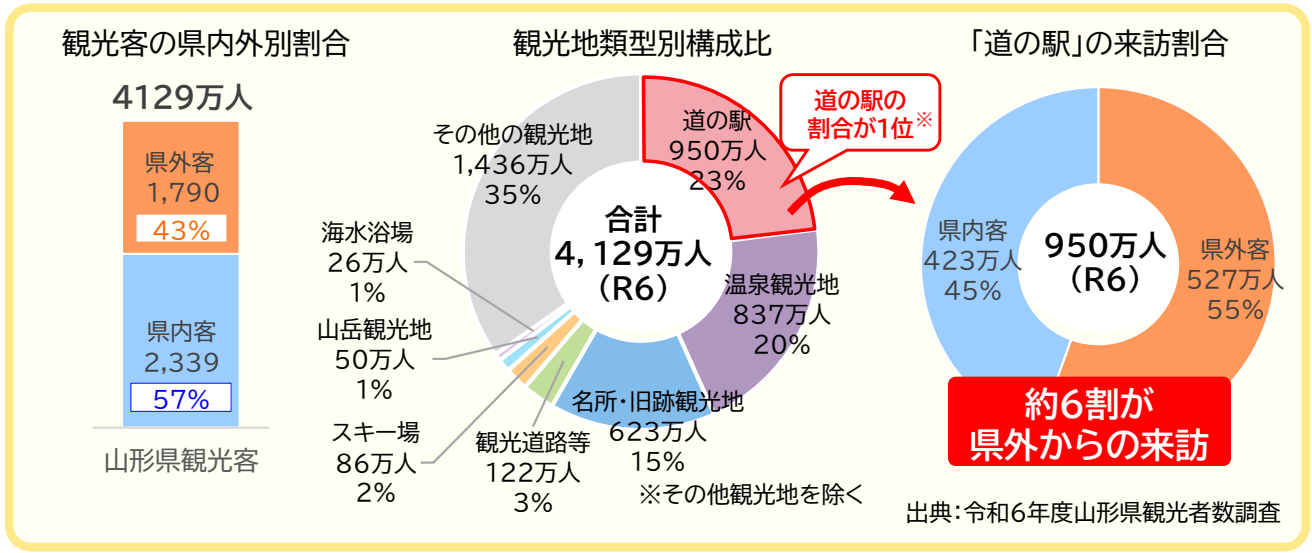


60分圏域人口：市役所・役場が60分圏域に該当する自治体の全域人口により算出
※今後山形県内の東北中央自動車道の事業中区間が開通すると秋田県羽後町が60分圏域に含まれる
人口出典：平成22年国勢調査、 R7.5.1 住民基本台帳、日本の地域別将来推計人口 令和5年推計（国立社会保障・人口問題研究所）

③交流人口拡大

■山形県の観光入込客数は約4,200万人であり、観光施設別にみると「道の駅」の利用者が多い。
■東北中央道（福島～米沢）の開通を機に開業した道の駅米沢は、山形県が交流人口拡大を目的に推進するゲートウェイ型道の駅としての機能を持ち、県外からの来訪が約7割と多く、R6年4月には累計来訪者が1,000万人を突破。
■**東北中央道を利用した来訪をみると福島市や栃木県、次いで郡山市や茨城県の割合が多く、広域な来訪がみられる。**

▼山形県の観光者数



▼ 東北中央道を利用した「道の駅米沢」の来訪エリア

▼ゲートウェイ機能を備えた道の駅米沢



山形県内の情報発信を行う総合案内所



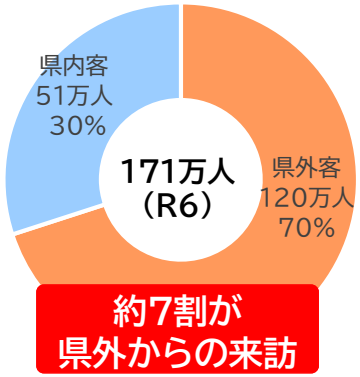
置賜エリアの周遊促進クーポン券を配布（まちナビカード）



出典：道の駅米沢/山形県公式観光サイト

出典：ETC2.0データ R6.5月 休日 より作成
東北中央道を利用し、道の駅米沢を訪れたトリップを集計

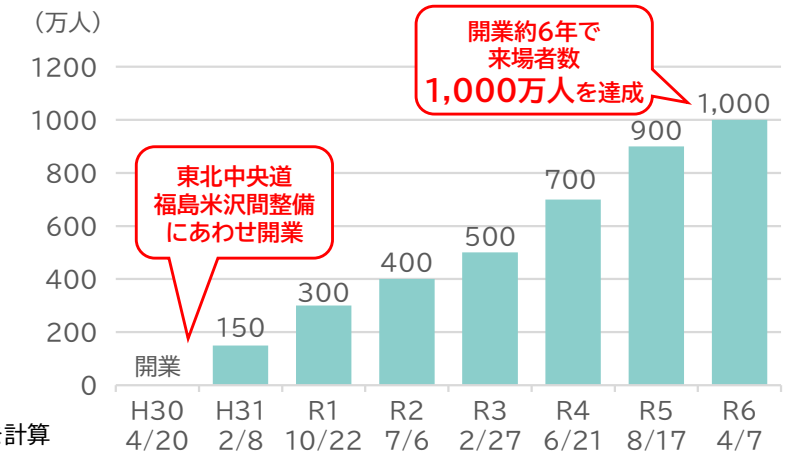
▼ 道の駅「米沢」の来訪者内訳（R6）



※割合は全来訪者数に対する県外・県内の比率を計算

出典：令和6年度山形県観光者数調査

▼ 道の駅「米沢」の累計来訪者数（H30.4～R6.4）

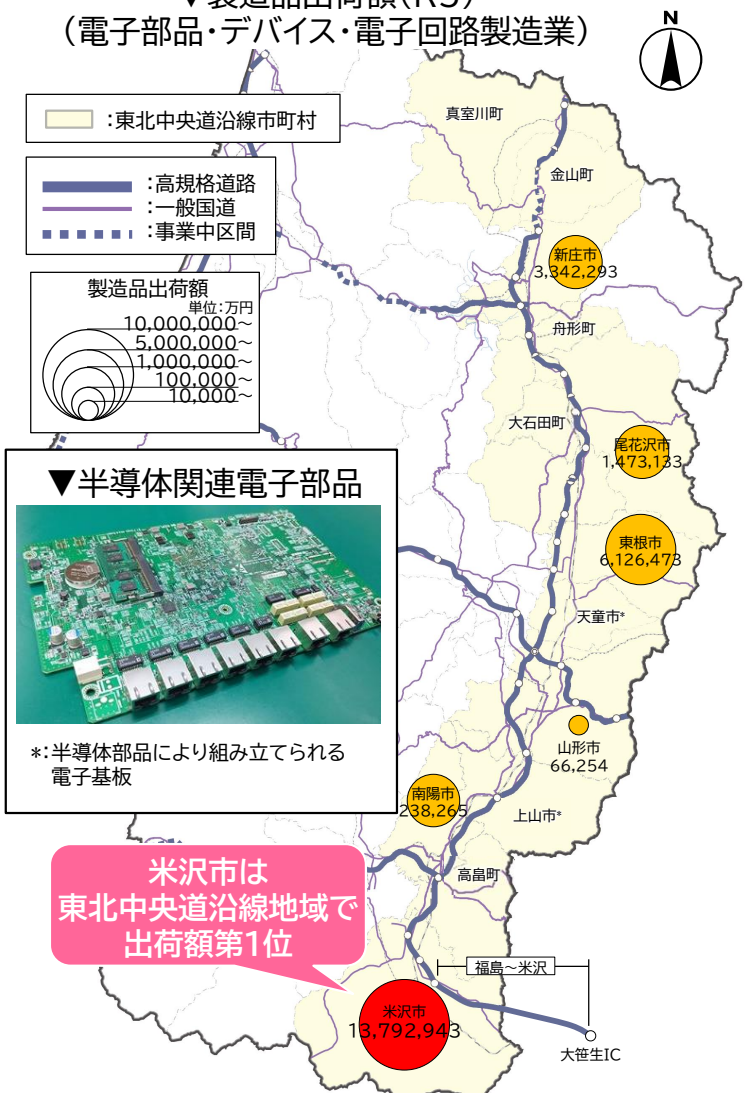


出典：米沢市資料

④半導体関連産業

■半導体関連を含む電子部品・デバイス・電子回路製造業の製造品出荷額等に着目。東中道沿線地域で米沢市が最も多い。
■米沢市の電子部品・デバイス・電子回路製造業の製造品出荷額等は増加傾向に推移し、R5年の製造品出荷額等は東北中央道開通前のH27年と比較し約2倍に増加。
■**米沢市では、東北中央道（福島～米沢）開通後に工場が立地。東中道整備前後で取引企業数の増加・広域化も見られる。**

▼製造品出荷額（R5）
（電子部品・デバイス・電子回路製造業）



▼半導体関連電子部品

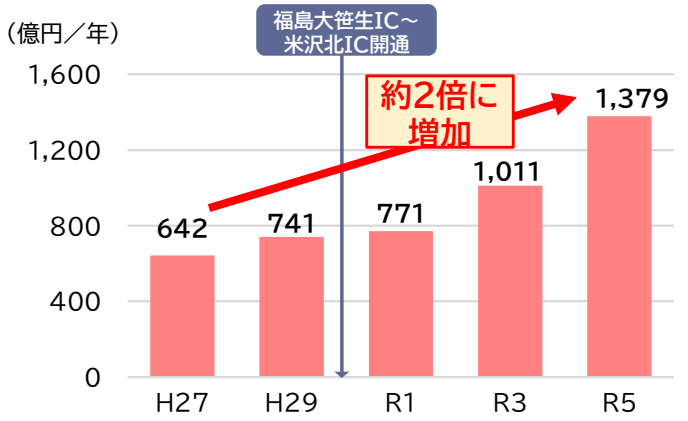
*:半導体部品により組み立てられる電子基板

米沢市は東北中央道沿線地域で出荷額第1位

*:申告者の秘密が漏れるおそれがあるための秘匿により数値不明

出典:工業統計調査

▼米沢市の製造品出荷額
（電子部品・デバイス・電子回路製造業）の推移



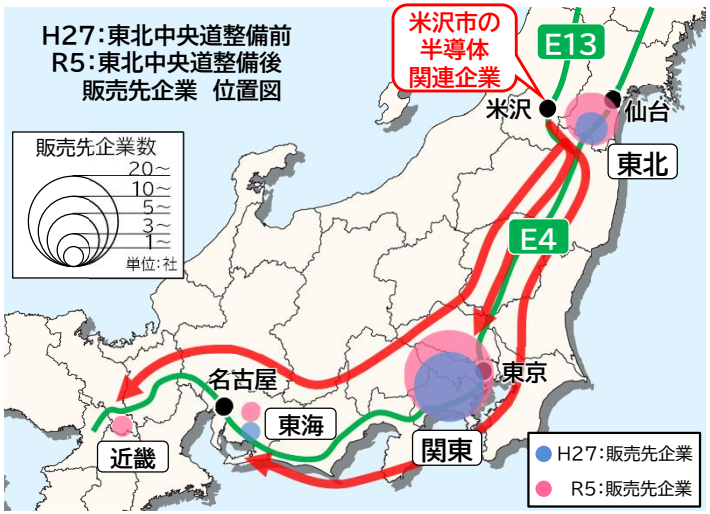
出典:各年工業統計調査

▼工場立地事例（米沢市）

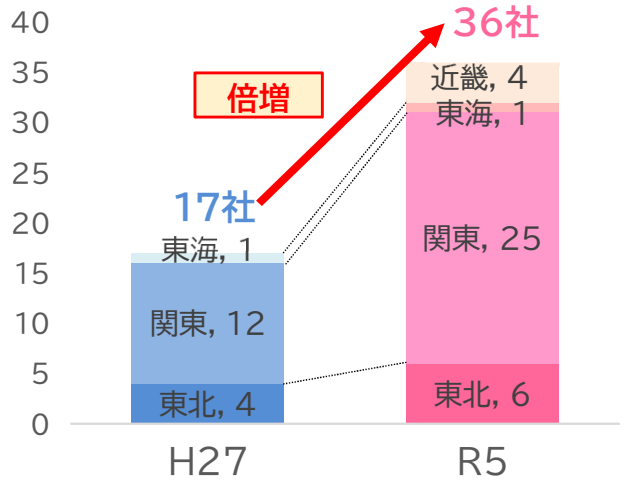


出典:地理院地図を加工し作成

▼東北中央道整備前後における取引企業数の変化
（米沢八幡原中核工業団地内 半導体関連企業の例）



▼販売先企業数の推移



出典:帝国データバンク

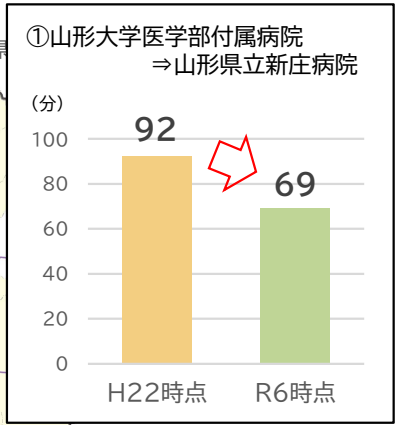
⑤医療

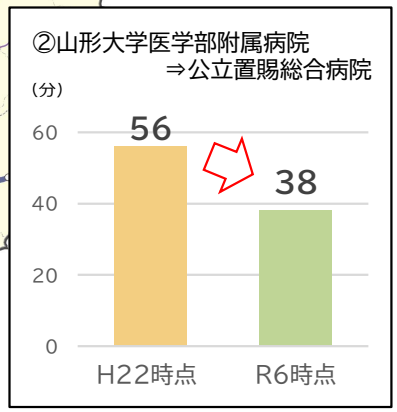
■東北中央道整備による移動時間短縮について、救急搬送以外の医療面に着目し確認。
■山大医学部病院から県立新庄病院までの所要時間が約25分短縮。公立置賜総合病院までの所要時間が約20分短縮。
■山形県の医師数を二次医療圏別にみると、村山地域は1,000名を超えるも、最上地域は100名を切る状況にあり、地域による偏在が顕著。山形県では第8次前期山形県医師確保計画に基づき、医師の確保・医師偏在の解消に努めている。
■**東北中央自動車道等の高規格ネットワーク整備は、医師の移動(通勤)時間短縮にも貢献。**

▼高規格ネットワーク整備よる所要時間短縮(主要病院間)

東北中央自動車道や新潟山形南部連絡道路の整備進展により、山形市から二次医療圏の主要病院まで全て高規格ネットワークに！

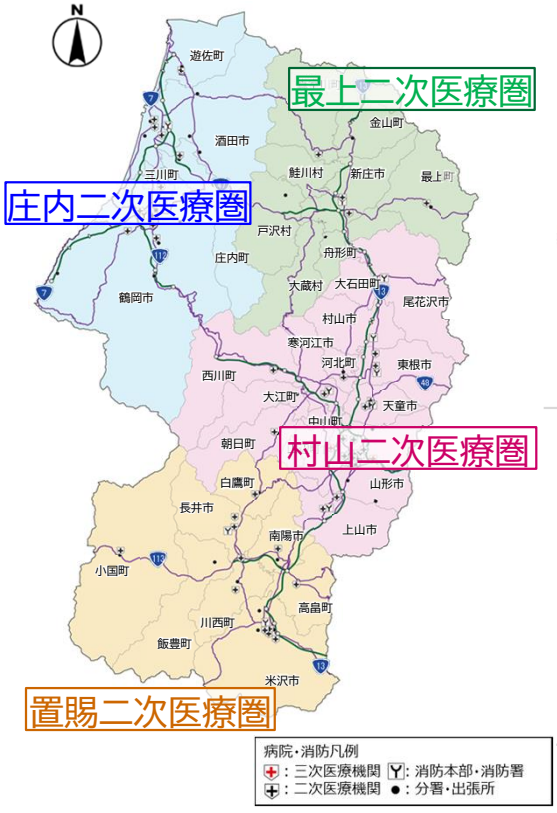






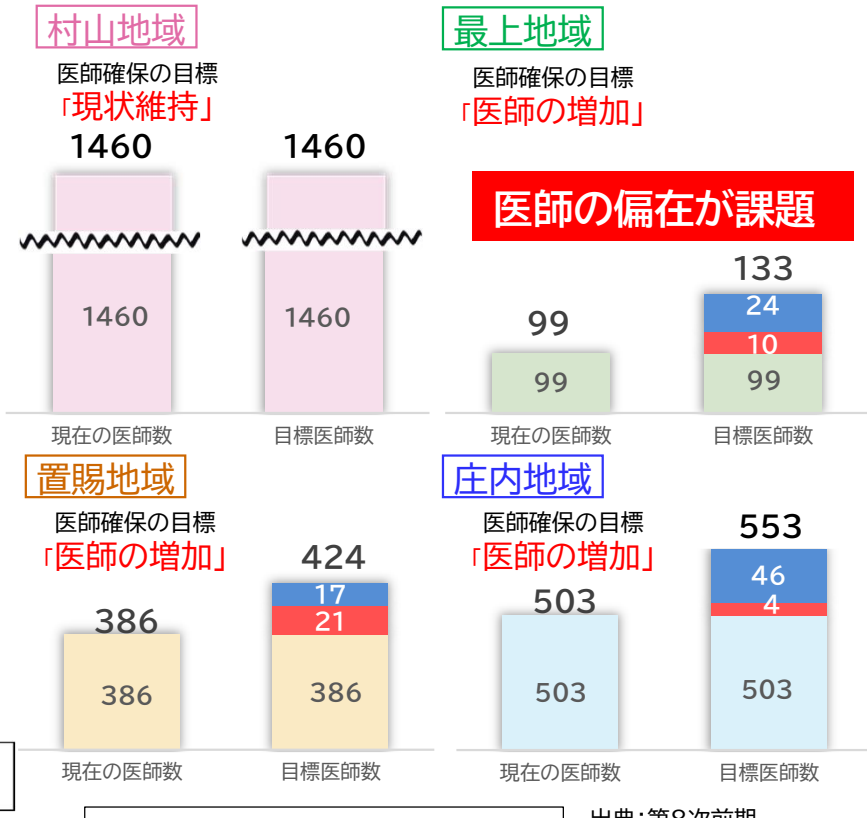
出典:整備前　H22道路交通センサス昼間12h平均旅行速度)
整備後 ETC2.0(R6.10 昼間12h平均旅行速度)
山形大学医学部附属病院から各病院で算定

▼山形県二次医療圏



出典:第8次山形県保健医療計画(R6.3 山形県)

▼山形県二次医療圏の医師数と医師確保の方針



出典:第8次前期
山形県医師確保計画
(R6.3 山形県)

山形県関係部局の声



●本県では、医師の偏在が課題であり、現在、第8次前期医師確保計画に基づいて、医師確保対策の取組みを行っています。
●**医師の少ない地域へは、医師の多い山形市等から非常勤医師の派遣も行っており、東北中央道の整備による移動負担の軽減も、本県の医療体制強化への効果**と言えます。

出典:R8.2ヒアリング結果